大玉社協　ボランティアサポートセンター広報

# 大ボラタイム

ボラセン６つの仕事
1　NPO、ボランティア活動の支援
2　人材育成の講座・研修の開催
3　ボランティアの情報収集と発信
4　福祉ニーズの収集とコーディネート活動
5　行政や団体との協働の仕組みづくり
6　ボランティア交流の場づくりとネットワーキング

## いざという時あわてずに、正しい救命処置をすることができますか？

令和３年７月26日(月)大玉村農村環境改善センターにて、～知っておきたい コロナ禍における救急法講座～「AEDの使い方」を実施しました。講師の赤十字救急法指導員の山上照雄さんより、救急隊が到着するまでの間に自分たちができる、心肺蘇生とAEDの使い方、止血の仕方に加え、コロナ下での応急手当の注意点を学びました。参加者の皆さんは、真剣に取り組んでおり、実際に傷病者発見からAEDを使うまでの流れを体験し、改めて応急処置の大切さと、落ち着いて救命することや現場での緊張感を感じることができました。

大玉村ボランティアサポートセンターでは、今後も身近に役立つ講座を実施していきますので、皆様のご参加をお待ちしております。

目 2･3 ページ：夏のボランティア体験を実施しました。
次 4ページ：AED 講座感想、ボランティア保険のご案内

社会福祉法人大玉村社会福祉協議会ボランティアサポートセンター
〒969-1302　福島県安達郡大玉村玉井字東三合目 19 番地
TEL0243-68-2100 Fax0243-68-2103 E-mail outama@arion.ocn.ne.jp

# ボラセンかわら版

ボラセンではボランティア登録、募集の相談、ボランティア保険等の相談を常時受け付け中

コロナ禍における救急法講座を受講して

講師に赤十字ボランティアの方を迎え、傷病者の発生から救急隊が到着するまでの間にすべきことのうち、特に、心肺蘇生とAEDを用いた除細動の手順を、実技を通して学びました。概要としては、はじめに傷病者に「大丈夫ですか」と声をかけ意識の有無を確認し、意識が無い場合は協力者に119番通報やAEDの手配をお願いします。また、心停止していないかを判断するため呼吸の確認、呼吸をしていない場合は胸骨圧迫を行い、さらにAEDの装着による心電図解析と必要により電気ショックを行うことなどでした。

以前にも救急法の講習を受けたことはありますが、何年も経過しており、記憶も定かでない状況でしたが、あらためて今回の講習を受け、時々復習することの大切さを感じました。万一、そのような事態に遭遇した時は、できる限りの手助けをさせて頂きたいと思っています。

今回、コロナ禍での開催ではありましたが、受講できたことに感謝いたします。

参加受講者
佐原佐百合さん

## 『コロナ禍における救急法講座「AED の使い方」に参加して』

～参加受講者の方からの感想～

参加受講者
遠藤勇雄さん

救急法講座に参加して

私は、コロナ禍の救急法は今までと何が違うのかが知りたくて参加しました。講座では、日本赤十字社福島県支部の方から救急隊に引き継ぐための一次救命処置（心肺蘇生の方法と AED の使い方）などを教えていただきました。

心肺蘇生の実技では、訓練用の人形を使い二人一組で行いました。倒れている人は感染症の疑いがある人として対応しました。ポイントは3つ①声をかけるときは顔を近づけすぎないこと②人工呼吸は行わず気道を確保すること③心臓マッサージを行うとき、倒れている人がマスクをしていなければ鼻と口にハンカチなどをかぶせて行うことです。

心肺停止の人を助けるために 119 番通報をすると、救急車が到着するまで心肺蘇生をするように指示があります。私は昨年、実際に心肺蘇生を経験しましたが思うようにいきませんでした。もしもの時に落ち着いて対応できるよう、何回練習してもいいと思っていました。救急法の講習会が地域で開催されることは、気軽に参加ができるのでありがたかったです。

## ボランティア活動保険　行事用保険のご案内

**『ボランティア活動保険』**

活動中に起こったボランティア自身のケガや他人の身体・財物に損害を与えたときに保証される保険です。

**保険料**　Ａプラン（基本プラン）１人年間３５０円
　　Ｂプラン（天災・地震補償プラン）１人年間５００円
**補償期間**　４月１日～翌年３月３１日まで　１年掛け捨て。
　　（途中加入の場合は申込完了日翌日から翌年３月 31 日まで）

**『ボランティア行事用保険』**

ボランティアグループなどが主催者となる行事開催中に、参加者がケガをした場合や主催者が賠償責任を負った場合に賠償する保険です。

**保険料**　Ａプラン１人１日２８円（最低保険料 560 円）
　　Ｂプラン１人１回２４１円
　　※Ｂプランは宿泊付き行事　行事の実施日のみ掛け捨て

もしも！に備えてお早めの加入をお勧めします。
申込み・問い合わせ
大玉村社会福祉協議会　0243-68-2100

編集後記

コロナ感染者数の激減からコロナ疲れもほっと一安心。ウイルスが「風邪の一種」に弱体化しているのか、はたまた更なる凶暴化への変異の過程で一旦収まったように見せているだけなのかは不明です。いずれにしても生活様式を従前のものに戻すことができるのは、まだまだ先のように感じます。お互いに注意しましょう。

昨今、「自助、共助、公助の順」と長らく言われてきました。第49回衆議院選が公示され、各政党・各候補者から格差や貧困の解消が叫ばれ、分配政策が打ち出されています。一人の生活者としては「何かしら貰えるからラッキー」と思ってしまいますが、その財源はどうなるのかも注視しておかなければなりません。目先の利益を優先して将来にツケが回るのも考えものです。選挙結果で何かが変わるのでしょうか。

私たちが、生きやすさを実感するためにもやはり「共助によるよりよい関係性」が重要ではないでしょうか。他人のためになっている自分に生きがいを感じる社会が広まると良いですね。

大玉村ボランティアサポートセンター　運営委員長　藤田安宏

初めていろんな人とのお弁当作りをしてとても苦労したこともあったけど、今度は自分でも作ってみたいと思います。そして自分も今回のような物を作りたいと思います。実践あるのみだと思いました。今日はとてもいい体験でした。
このようなボランティアができてとても良かったです。今日はありがとうございました。

7/21 かあちゃん弁当調理

初めて、身内以外の人達にお弁当をつくることになったので、初めはとても緊張していました。ですが「かあちゃん弁当の会」の方々や、他の中学生ボランティアの子達と協力して作り方を教わったりして、無事にお弁当を作ることができました。一番難しかったのは、しょうがを、千切りにする作業でした。切り方がわからずに困っていた時に、周りにいた会の方々が隣でずっと教えてくれたので、最後の一個になるころには、だいぶ慣れることができました。「かあちゃん弁当の会」の皆さん本当に今日はありがとうございました。

7/21 かあちゃん弁当調理

30～40人近くの人数のお弁当を作る大変さが良くわかりました。こんなに大量のを作るのは初めてで苦労しましたが、とても楽しく作ることができました。このようなお弁当などを作るボランティアにあまり参加していなくて、不安もありましたが、皆さん優しく教えて下さり、お話もたくさんして、不安なんかすぐなくなりました。今日は本当に、ありがとうございました。
お体に気を付けて下さい！

7/21 かあちゃん弁当調理

あまり、料理をしたことがなかったので、うまく作れるか緊張してしまいました。でも明るく作り方を指導してもらい、緊張がほぐれました。そして弁当が完成しました。今度もいろいろなボランティアに挑戦してみたいと思いました。
初めて会う人と、いろんなことをして打ち解けていくのが楽しいと感じました。またできる機会があったらやってみたいです。

7/21 かあちゃん弁当調理

僕は、中学生になってから、ボランティア活動を初めてやってすごく心がすっきりしました。いつもの夏は太陽の熱さを肌で感じてとてもジリジリしているけど、ボランティアをしている時は全く暑くありませんでした。むしろ涼しかったです。
地域の方々と一緒に弁当を作り、自分が村に貢献できた感じがして、とても気持ちが良かったです。
大玉村民の一人として、これからも様々なことにチャレンジして村に貢献したいです。

7/21 かあちゃん弁当調理

最初はとても緊張したけど、皆さんが優しく教えて下さったので、楽しく、安全に調理することができました。私は野菜や果物などを切ることが得意だったので、ボランティアとして活かすことができて良かったです。だんだん完成していく料理が、いいにおいでとても美味しそうだったので、早く食べたいなーと思いました。皆で一生懸命作ったので、おばあちゃんたちも喜んで食べてくれると思います。また、たくさんの様々なボランティア活動に参加し、地域に貢献できたら良いなと思いました。

8/4 かあちゃん弁当調理

活動の中で、包丁や火を使うことがありましたが、怪我もせず楽しんでボランティア活動ができました。また、活動中にたくさんお話をしたり、ちょっとした知識をもらったりもしました。

8/4 かあちゃん弁当調理

今日はかあちゃん弁当のボランティア活動に参加しました。このボランティアは初めてで不安なことがたくさんありましたが、他のボランティアさん方の教えもあり、しっかりやり遂げることができました。教えて下さる際も、とても優しく手際の良い調理で、とても感激しました。このようなボランティアの機会を下さりとてもありがたいです。
ボランティアは見返りを求めないという事を聞きますが、今回のかあちゃん弁当では、調理の仕方だけでなく、他のボランティアのあたたかく、優しい心にふれられてこれ以上ないほど楽しかったです。完成した弁当も、とても豪華で色鮮やかで美味しそうでした！今日のかあちゃん弁当のボランティア活動を活かして、これからもこのような機会があったら参加したいと思います。
今日は本当にありがとうございました。

8/4 かあちゃん弁当調理

いつもの夏は、太陽の熱さを肌で感じてとてもジリジリしているけど、ボランティアをしている時は、全く暑くなかった…

絵手紙を書くのは２回目だったけれど、１年くらい時間が空いていたので少し難しく感じました。3枚書いてみて意外とうまく早く色使いもできていたのでびっくりしました。みんなのを見て、絵がすごく上手だったし、言葉づかいもうまかったです。

8/6 絵手紙作成

初めて絵手紙を描いて少し難しかったけど、いろいろと教えてくれてきれいにかけたので、ものすごく楽しかったし、またやりたいと思いました。

8/6 絵手紙作成

初めてだったけどボランティアさんに教えてもらいながら、意外とうまく描けました。ボランティアさんありがとうございました。

8/6 絵手紙作成

細く描くのが難しかったけど上手に絵が描けたので良かったです。色を塗ったりするのが楽しかったです。

8/6 絵手紙作成

線を描くのが難しかったです。筆の上の方を持って描いたことがあまりなかったので、描きにくかったです。色塗りの時、塗り残しの場所があまり分からなかったので少し困りましたが、優しく教えて下さったので、上手にできたと思います。色塗りを手伝ってくださったので、とても上手にできました。絵を描くのはむずしかったですが、楽しかったです。

8/6 絵手紙作成

初めてだったけど、うまく描けてとても楽しかったです。お手本は物の光や色をきれいに再現できていたのですごいと思いました。筆で絵を描くのは難しかったです。

8/6 絵手紙作成

なかなかふれることのない絵手紙でしたが、その描き方もあまり見たことのない描き方で、描けるのか不安になっていました。ですが、描いているとだんだんと楽しくなってそんな不安はどこかに行ってしまいました。久美子さんとのお話も楽しくて意外とスムーズに進みました。とても楽しかったです。

8/6 絵手紙作成

**「夏のボランティア体験」実施報告**

夏休み期間を利用して「夏のボランティア体験」を実施しました。中学生は「おおたまかあちゃん弁当の会」調理ボランティアの皆さんと一緒にかあちゃん弁当の調理、小学生は「大玉村絵手紙愛好会」の皆さんから講習を受け絵手紙作成の体験をしました。お弁当と絵手紙は、かあちゃん弁当の会配送ボランティアさんより、利用者の皆さんへ届けられました。参加した感想をいただきましたので、紹介いたします。